

○いただいた意見・質問及びその回答

■発言者1：

跡地の開発について、時間が経って失敗した例があるので調査と集中的な資源が必要だと思う。周辺道路の整備も必要ですが、今後どのようになるのかイメージを教えてください。

【回答：市長】

これは1つの案として理解していただきたいが、避難タワーとしての複合施設などを考えている。また、今までの観光施設の活用についても考えていかなければならないと思っている。また、線路の跡地を利用したサイクリングロードについては安全性を考えると難しい。

(追加)

現在峠下に住んでいるが、自宅からバス停までの距離が遠い。毎回歩いているが鹿や熊に襲われる危険がある。まちづくりに合わせて郊外を暮らしやすくしてほしい。

【回答：市長】

対策としては公共交通機関を使っただかくということになると思う。現在は社会福祉協議会から医療バスの提供をしているが、利用する方が非常に少ない状況。地域の皆さんで協力してみんなで使っただきたい。今後も協議を続けていく。

■発言者2：

スクールランチについて、添加物の増加・給食費の保護者負担軽減の意味・他の自治体への提供について現時点で具体的な話がどの程度まで進んでいるのか・撤退する場合の学校給食のストップの可能性・法整備の関連性についてお聞きしたい。

また、モンベルについても撤退後の建物等について考えをお聞きしたい。

【回答：市長】

私が答えられる範囲でお話して、詳細については教育長からお話する。法改正については、法に基づいて行われているかどうかの確認をしながら、必要なことは国に申し述べていることを示しており、最初の挨拶で法が変わってくると言ったのは子どもたちの地域型スポーツの形についての意図なので、ご理解いただきたい。また、モンベルについては撤退後の話をすると事業を進めていけないので、モンベルとして勝算ありということで留萌の事業化を進めている。モンベル側も地域について調査をしたうえでの事業である。

【補足：教育長】

添加物については、市で民間委託をする際に現行の学校給食法に基づく実施基準や安全衛生基準を満たすように求めていく予定である。給食費の負担軽減については、当初検討を進めるにあたって現在よりもなるべく負担を減らせるようにと考えていた。今後の状況はまだわからないが、物価高騰が続くのであれば最悪今の価格を守りたいというような考え方で進めていきたいと思っている。他自治体の提供については、市から他自治体に働きかけを行うことはしない。あくまでもこれは進出する企業が、企業努力としてこのようなことを考えられるのではないかと想定でお話をさせていただいている。撤退については、当然どんなに今順調な企業であっても今自治体でも破産するような状況もあるので、胸を張って、この企業なら大丈夫だということは言えないような状況だが、民間企業を決めて契約する場合にある程度条件を設けることを考えている。現段階では有償で施設を買っていただくということを考えているが、これがある一定期間の間に継続できなくなる状況になったときは施設を返還していただくような仕組みができないか。あとは業者を選定するにあたってあらかじめ第三者を指定し、万が一選定した業者が継続できなくなった際に、その指定した会社に運営を一定期間お願いする仕組みなどを、契約の条件としてつけられないかというところを今内部で検討している。

■発言者3：

モンベルの話について、留萌市の財政負担で10億円という話が出ているが、それに見合った収入、留萌市の発展があると本当にお考えなのか。留萌市にアウトドア観光で北海道の中で光り輝くような要素があるのか、本当に真剣に検討しているのかお聞きしたい。給食センターに関して、学校給食を捨て去るというようなことを決してしないでいただきたい。

【回答：市長】

今まで公共施設として建てたものが有効に活用されてない現状ということも踏まえ、民間とタッグを組み、公設民営で建てることによって、有効活用を本当にしていくってことが大事だと思っている。それに伴う税金について、今後試算をしていく必要がある。今の時代、民間とタッグを組めるのであれば、そういう選択肢はあってもいいと思っている。また給食センターについても、留萌よりも小さい地域においては、さらに一つのセンターを持ったり学校内に給食を作る施設を持ったりってことで、当市よりも考えていかななくてはならない時代になってくると私は思っている。留萌管内でいうと初山別村がスクールランチを今年からやっている。このスクールランチは、旭川から毎日運ばれてくるもので、やはり事業者としてはある程度勝算があって進める事業だということでご理解をいただきたい。

【補足：教育長】

法の関係から義務教育施設の設置者が給食センターを設置するのではないかという話だったが、学校給食センターや、校内における給食施設については義務教育施設の設置者が行うことができるということになっている。なので、今実施しようとしているスクールランチは義務教育の施設の設置者が設置する施設ではないので、給食センターとは呼べないので仮に今スクールランチというふうに呼ばせていただいている。この今やろうとしてることは法律違反に当たるということではないというふうに考えている。

■発言者4：

スクールランチについて留萌市が責任を持たないということで本当にいいのか。全部外部に丸投げという解釈になっている。それからモンベルについて、公設民営型の全国で10自治体しかやってないものを留萌で本当にやれるのか。財政難とか箱物の作り直しという考え方と優先順位から、本当にこれがうまくいくと思えない。

【回答：市長】

言葉が足りなかったと思うが、スクールランチをやるから一切市が関わらないってということではないということをご理解いただきたい。先ほどの説明の中にあつた通り、献立も含めて市が関わっていくってということと、当然売却されてもそれぞれの学校との問題も含めて、市が関わっていくということをご理解をいただきたい。モンベルにつきましても、これから私達が目指す姿は通年型観光であり、今までできなかったものを考えていくことが魅力あるまちづくりをつくるための一つのツールとして必要であると思う。建築費についてはまだ何とも言えないが、財源については確実な保障をして話を進めていく予定でいる。

■発言者5：

統一地方選挙の投票所について、自分の居住区には多くの有権者がいるが、歩いて行くには遠い。投票所が身近にあれば投票率をアップできるのではないかと。また、移動投票所を設置してほしい。

【回答：市長】

前回の参議院選挙では期日前投票で移動式を活用させていただいた。しかし図書館で1回行っただけなので、今後は増やしていきたいと思う。

■発言者6：

今回市外から参加させていただいた。外から見ると留萌には非常にたくさんいいものがあるので、それをまちづくりの中に活かしていくということも一つの考え方としてはあるのではないかと。

【回答：市長】

市としては、交流人口の観点で、多くの人に来ていただいて何が足りないのかを検討していきたい。JRともいろいろ協議をしているが、記念の歴史がわかるようなものを設置することも必要ですし、教育委員会でも資料館のあり方やリニューアルの考え方も含めて今後検討する必要がある。あとは見晴公園の機関車について、これは日本にとっても貴重なものなので、協力してくれる企業とJRがいれば動かすことも可能になると思う。ただ設置してからかなり古く、手入れは行っているが持ち上げたときに崩れたりすることも懸念して、調査をしてからでないと動かさない。

■発言者7：

以前の留萌高校と北光中学校の利活用について、具体的に計画があるのがどうか。それと留萌駅について廃線後は壊してしまうのか。

【回答：市長】

まず廃校の活用について、北光中学校は体育館とグラウンドを利用している。校舎含めて利用ができるようになれば、水・電気・暖房の問題が解決してくると思っているので、様々な活動で使っていただきたい。高校については所有者が道なので、現在協議を行い夏場は体育館使えるようにしてもらっている。しかし水やトイレが使えない状況なので、これについても道に遊休施設の活用ということをお願いしている。多くの団体の方から意見をたくさん出してもらえた方が、市としてはまとめやすい。子どもたちが使うにはどうすればいいのか市でも検討している。北光中学校については市街地から離れているので使いづらい部分はあるが、大人がそれぞれの活動でひと部屋ずつ使うのであれば、活用方法も移動手段もあるのではないかと思っている。あと JR については壊してから次のものに転換していくと考えている。